

## 第13回 生産マイスター検定 3級の結果振り返りと現場の活動から

生産マイスター検定委員 石山 真実

### ■ 第13回検定の結果を振り返る

今回の3級は、前回(第12回)に比べて合格率が下がってしまいました。

中でも「役割」に関する問題の得点率が大きく下がってしまったことが気になります。通信教育の、主に第一単位のテキストで学ぶ「役割」は、リーダーとしての大切な考え方や心構え、メンバーとのコミュニケーションなど、チームとして現場のレベルを上げていくためにとっても重要です。チームメンバーと一緒に、現場のレベルアップをうまく進めるために、もう一度テキストを読み返しましょう。

また、計算問題関連については今回も良い成績とは言えませんでした。

「品質」に関する設問では「工程能力の計算」、「コスト」に関する設問では「製造原価構造の計算」「編成効率の計算」「ワークサンプリングの計算」「設備生産性の構造の計算」、「納期・生産管理」に関する設問では「正味所要量と発注手配量の計算」などが出題されましたが、やはり、多くの方が苦手とされているようです。

これらは、毎日の生産活動で使われる計算ではないので、皆さんの理解がしにくい内容かもしれませんが、しかし、今より少しでも高いレベルの現場を目指すために必要な内容なので、まず計算式の意味を理解するようにしましょう。暗記することも大事ですが、計算式の意味を理解すれば、なぜこのことを学ぶ必要があるのかも理解でき、自身の仕事にひき寄せて考えることができるようになります。

現場を改善し、リーダーシップを発揮しながらメンバーを引っ張っていくためには、これらの知識は不可欠なものです。是非、再度テキストを確認いただき、自身のものにしてください。

### ■現場の活動から

皆さんは、QCDという言葉をよく知っていますね。これは工場によく使われる用語ですが、なぜ工場で「QCDの改善」「QCDの向上」と言っているのか考えたことはありますか？

ここで、皆さんが日頃街で買い物をするときのことを思い出してください。

例えば、今度の日曜日に友達とランニングをするので、スポーツシューズを買いに行くとしましょう。

## (一社) 人材開発協会

お店に着いたらまず気に入ったデザイン、そして履きやすそうなシューズを探しますね。店内を見たところ、好みのデザインで履きやすそうなものが見つかりました！次はどうしますか？

多くの人は値段を見るでしょう。ランニング用のスポーツシューズですから予算は1万円以内というところでしょうか。さて、値段を見たら7,800円でした。「よし、予算内だ！」。あなたはこれを買おうとします。そして店員さんに「このシューズが欲しいのですが、26cmの在庫はありますか？」と声をかけました。しかし「あ〜、すみません、ちょっと在庫切れで、来週の水曜に入ってきます」と店員さんが答えました。

皆さんはこんなときどうしますか？日曜日に使いたくて買いに来たので、当然「それじゃいいです、他の店にいつてみます」ということになるでしょう。

さて、振り返ってみると、皆さんはこのお店で一足のスポーツシューズを買うと決めるまでに、こんなことを検討しているのです。

「この店に気に入ったデザインがあるか？」なければ、この店では買いません。

「値段は予算内か？」もちろん、予算オーバーだったら買いませんね。

「在庫はあるか？」今欲しいのですから、在庫がなければやはりこの店では買いません。

「気に入ったものがあり」「値段が予算内で」「ほしい時に手に入る」—この3つがそろって初めて購入となり、1つでも欠ければ購入しないことになるわけです。

この「気に入ったもの」を「Q：品質」、「予算内の値段」を「C：コスト」、「ほしい時に手に入る」を「D：納期」と工場ではよんでいます。つまりQCDは、お客様が皆さんの造った製品を、買うか買わないかを決める重要なポイントであると言えるのです。

いかがですか。QCDについてより身近に捉えることができたでしょうか。このことを踏まえて、もう一度職場のメンバーとQCDのレベルアップについて考えてみてください。

以上